



# スピーキング能力を育てる インプット活動

— 中学2年生 夢を語るために —

直井 恵子 (神奈川県座間市立南中学校)

## はじめに

3年間を見通した授業デザインを考えていたとき、夏休みのセミナーで『点を線で結ぶ授業』の大切さを学んだ。自分の授業は「点」のままになっていないか、「線」としてきちんと結びついているか、ということが1つの課題になった。そして2学期、2年生がいよいよ不定詞を学ぶ時期となり、NEW CROWN BOOK2 Lesson 6 Speech - 'My Dream'を扱うことになった。頭に浮かぶのはなによりも、「点」から「線」。このことばかりを考えての授業づくりであった。

'My Dream'を学習するにあたり、最終目標を「自分の夢について語ることができる生徒」とした。自分の夢について考えることは、中学生にとっても大切であり、ましてや将来いろいろな国々の人々と話をするときに、こういった話題もきっと出てくると思えるからだ。

また、タイミングが良いことに、総合学習で「職場体験学習」に取り組んでいる真っ最中であり、学

年の雰囲気としても将来について考えるには良い時期となっていた。

## 授業におけるインプット活動

まずはじめに、インプット活動の必要があると考えた。生徒が自分の夢を語るには、いろいろな表現方法を知っていないと自分の考えを相手に伝えることは無理だと思ったからだ。

したがって、授業デザインの中でインプット活動を「点」として位置づけ、その後その「点」同士を結びつけて「線」とする活動を考えていくことにした。

### インプット活動No. 1《弾丸ベラベラEnglish》

これは、埼玉県春日部市の川村光一先生のアイデアをもとに考えたものである。といっても先生のアイデアを使わせていただいた、といったほうが良いかもしれない。

まず、生徒に「弾丸ベラベラEnglish」のハンドアウト(資料1参照)を配布し、印刷されている英

## 指導計画

時間	Section	内容	インプット活動
1時間目	1	教科書の導入中心, カードゲーム	弾丸ベラベライングリッシュ
2時間目	1	「もしも宝くじに当たったら」	
3時間目	2	教科書導入中心 'Information Gap Game' Listening with a picture card	
4時間目	2	教科書導入 「もしも将来, 南株式会社の面接を受けることになったら」	
5時間目	3	教科書導入, writing活動	
6時間目	総復習	スピーチ(公開授業)	
7時間目	総復習	(PC室) 自分の夢についての考えをアメリカの友達にメールで送る	

**(資料1) 弾丸ペラペラ English! Level 2**

	English Sentences	日本語訳
1	I want to be a nursery school teacher.	わたしは保育士になりたいです。
2	I'm going to tell you about my dream for the future.	将来の夢について話します。
3	It's my dream.	それがわたしの夢です。
4	The dream comes true some day.	いつか夢がかなうでしょう。
5	I like ~ very much.	わたしは~が好きです。
6	First, I like children.	最初の理由は、子どもが好きだからです。
7	After graduation from a junior high school, I'll go to high school.	中学を卒業したら、高校に行きたいです。
8	I hope to be a rich man.	金持ちになりたいです。
9	I want to visit America some day.	いつかアメリカに行ってみたいです。
10	I want to study English.	英語を勉強したいです。
11	Because I want to help people.	なぜなら、人々を助けたいからです。
12	How do you say ~ in English?	~は英語でどういいますか。
13	How do you spell ~ ?	~は英語でどういうつづりですか。
14	What does ~ mean?	~はどういう意味ですか。
15	What's your special skill?	どんなことが得意ですか。

----- 切り取り線 -----

	1	2	3	4	5	6	7	8
Date	/	/	/	/	/	/	/	/
Point	点	点	点	点	点	点	点	点
Level								

A13-15 B8-12 C3-7 D0-2

2年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

文を覚えてくるよう指導する。授業の始めに生徒はペアで、1人が言った日本語訳をもう1人が英語にして話す。それを制限時間内にどれだけ言えたかをチェックし、それぞれに自己評価する。

生徒たちは、授業に入る前に一生懸命「弾丸ペラペラEnglish」のハンドアウトを見て、ぶつぶつ言っているのだ。つまり一生懸命暗記をしているのである。15の英文を、今日はここまで、あしたはここまでがんばろうとみんなで努力している姿が見られた。

これを毎時間繰り返すことで、使える英語表現を増やしていくには良い方法であった。

**インプット活動No.2《職業に関する英語》**

世の中にはたくさんの職業があることを、生徒は総合学習で学ぶ機会があった。英語の授業ではそれを受け、その職業は一体英語ではどのようなだろうか?といったことから、職業に関する英語

についての学習が始まった。教科書にも職業に関する英語は紹介されているが、その他にもハンドアウトを配り、生徒にはたくさんの英語を考えさせた。

そのあと、リズムボックスを使ってその英語を学習した。リズムボックスによってリズム良く学習していく方法を、私はインプット活動では多く取り入れている。単調なリピーティングよりも、生徒は楽しそうに発音する。

また、職業関連の単語を使ってカードゲームも行った。これはいわゆる「カルタ」であるが、授業の10分間に、職業に関する英語についてゲームで学習できる機会も設けた。

とにかく、教科書の単語に限らず、関連する単語をどんどん生徒にインプットしていくこと。これは大切なことだと思う。多すぎるかな?と思うくらいの量でも、けっこう生徒は覚えてしまうものである。

**インプット活動No.3**

**《不定詞を使った表現インプット》**

アウトプット活動として行うアクティビティーに結びつけるため、この課でポイントとなっている不定詞を使った表現を、どんどん生徒に発話させていく授業を行った。

不定詞を習い始めた9月中旬のころは、この言い方もたどたどしかったが、次第に生徒は英語の不定詞の表現に慣れていった。この活動は、次に行われるアクティビティーへの入門であり、コミュニケーション・アクティビティーをスムーズに進めるためには大切な学習となっている。

**インプット活動No.4**

**《アメリカに行きたいの?何のために?》**

不定詞の副詞的用法を学習するにあたり、その使い方について学習を重ねたあと、「もしも宝くじに当たったら」というタスク活動をしようと考えた。その活動のために行ったのは、行きたいと思われる国名と、その国に行きたい理由として考えられる英語表現をたくさんインプットすることである。多くの生徒は、野球の大リーグに興味を持っているだろうし、NBAのバスケットボールチームに興味を持

っている生徒もいる。外国に行こうとするときに本当に必要な表現は、このような内容なのではないか、といった興味深い内容についてインプット活動を行った。これも、次に行われるタスク活動を考えたインプット活動といえる。

## 生徒が楽しく参加するコミュニケーション活動

いつも学期の終わりに生徒にアンケートをとっているが、「英語で行われる授業の中でどのような学習が好きですか？（複数回答）」という問いに対して92%の生徒が「歌・クイズ・ゲームなどの活動や、教室の中を動き回る友達との会話練習」と答えている。またその理由は、「会話するのは楽しい。いろいろな人に自分の知らないことが聞けて楽しい。わかっただけでも、実際に話せるかを確認できる。」というものであった。

授業の主役は生徒である。週3時間の中で、生徒たちに楽しい授業をし、また定着させていくことは本当に難しく頭を痛めるところである。そこで、毎時間、短時間でもよいから「生徒が教室の中で、体を動かし、友達に話しかけ、考え、発表できる」場面を設定することにしている。たとえば、歌、インタビューゲーム、自己表現活動、スピーチ、Show and Tellなどがそれにあたる。

毎時間のアクティビティー作りは教師として準備に時間がかかり大変ではあるが、様々な先生方から多くの情報を得ながら創っていくことに面白さも感じている。

### Information Gap Game

#### 「あの人が行きたいと思っている高校は？」

このような活動の場合、決まった質問をし、それについて典型的な英語で答えるパターンが多い。しかし、今回は進路学習を兼ね、友達の行きたいと思っている高校についての情報集めるというInformation Gap Gameを行った（資料2）。そのときに使われる英語表現については、インプット活動の中ですでに行っている。そして実際この活動を行ったときには、インプットされた英語表現が見られ

た。自分で伝えたい表現を言えるようになって増えてきたと思う。そして何よりも、生徒が楽しく参加している活動となっているかがこの活動の大きな鍵であると考えている。

#### タスク活動No. 1「もしも宝くじに当たったら」

不定詞の副詞的用法（目的）を学習したときに行ったタスク活動である。これをするにあたって行ったインプット活動は前述のとおりである。ペアとなって活動を行ったが、今まで習った不定詞を使って何とか相手に伝えようと生徒は努力していた。4人を1グループとし、その中でペアを2組作る。1組が活動している間、もう1組はカードに評価をすることにした。なんとも楽しそうに授業をしていた様子が印象的であった。

#### (資料2) Information GAP Game

2人でペアとなって、行きたいと思っている高校を聞いてみよう。

Which high school does ( ) want to go to?  
( ) wants to go to ( ) High School.

Why?

She(He) wants to ( ).

Aさん

		High School	
Taro	Zama	野球を一生懸命したいから。 できればアメリカに行きたい。	( )
Hanako	( )	( )	( )
David	Ayase	バスケットをやりたい。 将来オーストラリアに行きたい。	( )
Rina	( )	( )	( )
Hiro	Minami	将来コックさんになりたい。 食べることが大好き。	( )
Ken	( )	( )	( )
Miki	Nishi	将来は音楽の先生になりたい。 ピアノを弾くのが大好きなんだ。	( )
Tom	( )	( )	( )

Which high school does ( ) want to go to?  
( ) wants to go to ( ) High School.

Why?

She(He) wants to ( ).

Bさん

		High School	
Taro	( )	( )	( )
Hanako	Yamato	英語を勉強したいから。 将来イギリスに行きたい。	( )
David	( )	( )	( )
Rina	Hibari	テニスをしたい。 できれば将来保育士になりたいから。	( )
Hiro	( )	( )	( )
Ken	Higashi	将来は医者になりたい。 数学を一生懸命勉強したい。	( )
Miki	( )	( )	( )
Tom	Sagami	踊ることが好きなんだ。	( )

## 活動No.2「もしも将来、南株式会社の面接を受けることになったら」

今までの不定詞の使い方の総復習である(資料3)。ペア活動として面接の様子を再現してもらった。この活動についても生徒同士で積極的に英語で相手に意思を伝えようとしていた。インプットしてきた英語表現を自由に積極的に使えることを目的とした。

### スピーチ 'My Dream'

1人ひとり「仕事」「行きたいところ」「将来やりたいこと」「行きたい高校」についての応答となった。今回は暗記した内容を言うだけでなく、教師の質問に答える方法で行うこととした。中には1つの質問にしか答えられない生徒もいたが、なんとか自分の夢について答える努力をしていた。

公開授業にあてたこともあり、保護者の方にも生徒の夢を聞いていただく機会となった。まだ2年生ではあるが、ほとんどの生徒が高校のことをはっきりと考えていることを知り、私自身も驚いた。そのあと総合学習で職業体験が行われたが、職業について考える良い機会であったと思う。

### おわりに

3年間を見通しての、また1年ごとの、そして短期の視点における授業デザインを意識しての実践であった。それぞれの学年では、次のところをひとつの山場に設定して授業デザインをしている。

1年生...Let's Write 1「自己紹介」

(自分自身のことについて相手に説明する)

2年生...Lesson 6 Speech - 'My Dream'

(自分の夢について語る)

3年生...Lesson 5 Show and Tell

(身の回りのものについて紹介する)

なお南中学校では、座間市の姉妹都市であるアメリカネシー州スマーナ市の中学生とE-mail交

流を続けており、実際にメールを通して英語を使ったコミュニケーションも3年間の授業計画の中に組み込んでいる。

今回、私は授業の中でどのように「点」を「線」で結んで実践していくかを考え続けた。毎時間行った「弾丸ペラペラEnglish」活動は大変単調な実践ではあるが、生徒の英語力が確実に伸びてくることを確信した。なぜなら、ライティング活動をしている生徒は、"How do you say ~?" と質問をし、自分の夢について発表をするときも、"I want to ~." と、自然に発表することができるようになってきているからだ。

まだまだリズムやイントネーションについては、生徒の英語力に磨きをかけなくてはならないと思っている。しかしながら、生徒が自らのことばで自分の考えを表現できるようになってきたのは確かである。

### (資料3)

#### 「もしも将来、南株式会社面接を受けることになったら...」

あなたは今、南株式会社に入社するための面接に来ています。面接官からの質問に、元気に答えましょう。面接官は最後までAさんの答えを聞いてあげましょう。Aさんは、絶対に入社するために面接官の質問にしっかりと答えましょう。

面接官	Aさん
1 さあ、あなたから挨拶をしましょう。そしてAさんの名前を聞きましょう。	1 面接官が話しかけてきます。笑顔で挨拶をしよう。そして質問に答えよう。
2 Aさんの年齢を聞きましょう。	2 面接官が年齢を聞いてきます。20歳であると伝えましょう。
3 Aさんの将来の夢を聞きながら、やる気のある人なのか考えましょう。Tell me about your dream for the future.	3 自分の将来の夢についてきちんと答えよう。 I want to ~.
4 Aさんが、何になりたいのかを答えられます。なぜそれになりたいのかをたずねましょう。Why do you want to be a _____?	4 A面接官は理由を聞いてきます。自分の夢についてなぜなのか、その理由を3つ答えよう。 First, ~. Second, ~. Third, ~.
5 Aさんはどんな特技があるのかな? 得意なことを聞いてみよう。What's your special skill?	5 自分の特技を3つ答えよう。 I can ~.
6 英語についてどう考えているか聞いてみよう。What do you like about English?	6 英語についての自分の考えを答えよう。 I think that English is _____.
7 この会社はアメリカにも支店があります。アメリカに行きたいかどうか聞いてみよう。Do you want to go to America?	7 アメリカの支店にも是非行ってみたいと伝えましょう。その理由も答えよう。 I want to go to America to ~.
8 ありがとう、と言って笑顔で面接を終わりにしましょう。	8 こちこそ、という気持ちで、笑顔で面接会場を後にしましょう。